

第17回

KO本大賞

ベストコメント賞

K.O.

光のところにいてね

一穂ミチ (文藝春秋)

「エモさ」を確信させてくるタイトルにピン!と来たならぜひ読んでほしい。運命的な出会いを果たした二人の少女、それぞれの視点から交互に描かれる四半世紀の物語です。友情とも恋愛とも違う、名前のつけられない関係を形作る繊細な感情が丁寧に描写されていて引き込まれました。心の深いところに響くような読後感を味わえる一冊。

KO本大賞 (神奈川県学校図書館員大賞)

神奈川県学校図書館員研究会会員が、この1年間に自分で読んで「おもしろい! 生徒にもすすめたい!」と思った

「かながわ・おもしろ・本」「Knock・Out・された本」「これは・おさえておきたい・本」

